



植物栽培室で

つくば、ホンモノ!  
TSUKUBA, HONMONO!

産業技術総合研究所  
生物プロセス研究部門 研究員  
Yoshimi Oshima 大島 良美さん(36)

大阪市生まれ。広島大学生物生産学部卒業、同大学院生物園科学研究科で博士号(農学)を取得。現在は産業技術総合研究所で植物遺伝子制御による生産技術開発を研究。

つくばで輝く  
女性研究者



海外研究チームとの共同研究

《植物の可能性》

植物の表面を覆うクチクラや花の形態形成の遺伝子制御技術、パラゴムのキのラテックス合成組織などを研究。産総研(産業技術総合研究

未知の領域に憧れ  
植物の可能性を探る

所が開発したCRESS-IT法(キメラリプレッサージーンサイレンシング法)を使って発見したクチクラの形成制御シ

が広がると考えて植物研究者になりました。同大学院で生物資源開



趣味のゴルフ

の風合いや品種改良、気候変動に対応する植物なども研究。「新しい発見も多く、植物には未知の可能性がたくさん秘められています。」

《分子生物学への関心》

高校在学中、複雑で精巧な仕組みを持つ生物に興味を持ち、広島大学生物生産学部に進学。

生体現象を引き起こす生体内の相互作用を二つひとつ研究する分子生物学に魅力を感じました。また、植物バイオテクノロジーは適用範囲が広く、世界中の畑に夢

つくばの暮らし

現在は大学院で知り合った夫とつくばで暮らす。「最初は夫の職場に合わせて東京住まいでしたが、私の研究を応援する夫の協力もありつくばに移住しました」と大島さん。TXで都内に通勤する夫はつくばに来てから夫婦で始めたゴルフや家庭菜園、料理などを楽しむライフスタイルになりました」と話す。自身は調味料作り、ピアノ、産総研の合唱サークル活動、夫婦で楽しむゴルフや家庭菜園と充実の毎日を送る。「家庭菜園は栽培室とは違い思い通りにいきません。大変だけれど勉強になりますね」と笑顔。